



JAPAN INTERNATIONAL
MUSIC COMPETITION

日本国際音楽コンペティション 審査員

管楽器部門 Wind



伊勢 敏之 Toshiyuki Ise(トロンボーン・指揮)

大阪芸術大学芸術学部演奏学科卒業。現在、大阪芸術大学教授、大阪音楽大学特任准教授、大阪成蹊大学・女子高等学校吹奏楽部指導者を中心に、吹奏楽指導者・指揮者として活動。またトロンボーン奏者としても、テレマン室内管弦楽団など、関西のオーケストラや室内楽等のエキストラとして演奏活動。一般社団法人日本管打・吹奏楽学会、日本吹奏楽指導者協会（JBA）、日本21世紀の吹奏楽“響宴”の各会員。日本吹奏楽指導者クリニックスタッフ。関西トロンボーン協会常任理事。トロンボーンを磯貝富治男、呉信一、伊藤清、室内楽を森下治郎、指揮を岩村力、増井信貴の各氏に師事。



辻 功 Isao Tsuji (オーボエ)

東京藝術大学音楽学部付属音楽高等学校を経て、東京藝術大学音楽学部卒業。1985年第1回国際オーボエコンクール第2位（第1位なし）。87年北西ドイツ音楽大学（デトモルト音楽院）を首席で卒業。在学中、オーボエをH.ヴァインシャーマン、G.シュマルフスの両氏に師事。92年読売日本交響楽団に首席として入団。2020年3月同団を退団する。92年、95年、99年リサイタルを東京にて開催し好評を博す。

現在、洗足学園音楽大学教授、学部長補佐、国立音楽大学客員教授、日本大学芸術学部講師、日本オーボエ協会理事長。



山腰 まり Mari Yamakoshi (フルート・ピッコロ)

桐朋学園大学音楽学部卒業 米国ジョーンズ・ホプキンス大学ピーバディ音楽院ディプロマ課程首席修了 第6回日本フルートコンヴェンションコンクールアンサンブル部門第1位 第7回全日本学生音楽コンクール全国1位 第8回松方ホール音楽賞大賞受賞 第12回フルートコンヴェンションピッコロコンクール第1位 第20回京都芸術祭毎日新聞社賞受賞 兵庫芸術文化センター管弦楽団アソシエイト・プレイヤー 相愛大学音楽学部講師 リサイタル開催及び国内外オーケストラに客演出演 フルートを安藤史子、小久見豊子、西田直孝、峰岸壮一、マーク・スパークス各氏に、ピッコロをローリー・ソコフ氏に師事



JAPAN INTERNATIONAL
MUSIC COMPETITION

日本国際音楽コンペティション 審査員

管楽器部門 Wind



ザビエル・ラック Xavier Luck (フルート)

メルボルン大学を卒業後、英国王立音楽大学、ウィーン国立音楽大学で研鑽を積む。ウィーン国立音楽大学の学生時代よりウィーンフィルハーモニー管弦楽団及び、ウィーン国立歌劇場の契約奏者を長年務めた。ロンドンフィルハーモニー管弦楽団、ウィーン交響楽団、シドニー交響楽団、NHK交響楽団など、数々の世界的オーケストラにゲスト奏者として招かれ、演奏会、レコーディングを行う。兵庫芸術文化センター管弦楽団の初代フルート奏者を務めた後、2008年からソウルフィルハーモニー管弦楽団の副首席奏者を務めた。神戸女学院大学音楽学部教授。



津末 佐紀子 Sakiko Tsusue (オーボエ)

くらしき作陽大学音楽学部卒業。2002年ドイツ国立ハンブルク音楽大学に留学。2003年リヒャルト・ラウシュマンオーボエコンクールで2位入賞(1位なし)。2005年12月より1年間ハンブルク国立歌劇場の研修団員。2008年9月より大阪シンフォニカー交響楽団(現・大阪交響楽団)首席オーボエ奏者に就任。これまでにオーボエをライナー・ヘルヴィッヒ、菅付章宏、室内楽をリクレフ・デュールの各氏に師事。



松下 浩之 Hiroyuki Matsushita (トロンボーン)

大阪音楽大学音楽学部卒業。1988～2013年大阪市音楽団(現Osaka Shion Wind Orchestra)に在籍。国内外のコンクールに入賞。現在ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団インストラクティブ・プレイヤー。全国のオーケストラ、吹奏楽団、ビッグバンド、スタジオレコーディングなどの客演奏者として、また各種コンクールの審査員を務める。MAH TRIO、KOBE TRIO、After Hours Sessionのメンバー。伸縮倶楽部主宰。大阪音楽大学、神戸女学院大学音楽学部、大阪芸術大学演奏学科、大阪成蹊女子高等学校音楽コース、ドルチェ・ミュージック・アカデミー大阪各講師。株式会社ビュッフェ・クラノン・ジャパン特別嘱託講師。関西トロンボーン協会理事。日本トロンボーン協会、神戸音楽家協会会員。



日本国際音楽コンペティション 審査員

管楽器部門 Wind



三瀬 直子 Naoko Mise (フルート)

兵庫県立西宮高校音楽科を経て東京藝術大学卒業。在学中に安宅賞受賞。卒業時に管打楽器最優秀成績を修め、東京芸術劇場にて藝大オーケストラと協演。その後同大学院修士課程修了。ドイツ学術交流会（DAAD）奨学生としてハノーバー音楽大学に留学しソリストクラス修了。第5回日本木管コンクール入選、併せて保科賞受賞。第9回日本木管コンクール第3位受賞。平成29年度ひょうごアーティストサロン賞受賞。NHK「FMリサイタル」、「名曲リサイタル」に出演。関西を中心にソロ、室内楽の演奏活動を行っている。現在、大阪音楽大学、兵庫県立西宮高校音楽科各講師。西宮音楽協会会員。



JAPAN INTERNATIONAL
MUSIC COMPETITION

日本国際音楽コンペティション 審査員

弦楽器部門 Strings



漆原 啓子 Keiko Urushihara (ヴァイオリン)

第8回ヴィニャフスキ国際コンクールにおいて最年少18歳で日本人初の優勝。翌年、東京藝術大学入学と同時に本格的演奏活動を開始。1986年ハレー・ストリング・クアルテットとして民音コンクール室内楽部門で優勝並びに斎藤秀雄賞を受賞。ソリスト、室内楽奏者としての活動はいずれも高く評価され円熟期を証明している。国内外の音楽祭、マスタークラスなどに多数出演。CDは文化庁芸術祭レコード部門優秀賞、レコード芸術特選盤に選出されるなど注目を浴びている。常に第一線で活躍を続け、安定した高水準の演奏は指揮者、オーケストラ・メンバー等の音楽家の間でも高い支持を得ている。現在、国立音楽大学教授、桐朋学園大学特任教授。



上塚 憲一 Kenichi Kamitsuka (チェロ)

1981年京都市立芸術大学音楽学部卒業。チェロを黒沼俊夫氏、バロックチェロをA.ビルスマ、室内楽をG.ボッセ、S.スタンデイジの各氏に師事。1991年、1998年に大阪文化祭賞・奨励賞及び第15回神戸灘ライオンズクラブ賞を受賞。1992年第1回坂井時忠音楽賞を受賞。現在は大阪音楽大学教授、同音楽院登録講師、県立西宮高等学校音楽科非常勤講師。地域での活動として明石フィルハーモニー管弦楽団演奏委員、同管弦楽団運営副本部長、同ジュニア・オーケストラ常任トレーナー、アンサンブル・ジョワン音楽監督及び常任指揮者、アンサンブル・オルタンシア・神戸指揮者、チェロアンサンブルKobe音楽監督及び常任指揮者を務める。西宮音楽協会会員。



嶽崎 あき子 Akiko Takezaki (ヴァイオリン)

愛知県立芸術大学音楽学部弦楽器専攻卒業。ドイツ国立ワイマール・フランツ・リスト音楽大学首席卒業。ソリストとして室内オーケストラ「フランツ・リスト・ワイマール」とバッハ作曲ヴァイオリン協奏曲を共演。MDR（中部ドイツラジオ放送局）にて多数の録音に携わる。Speyerer Morgenpost新聞、Die Rheinpfalz新聞にて賞賛される。ワイマール国立歌劇場オーケストラアカデミー卒業。その後ワイマール国立歌劇場オーケストラ契約団員となる。ドイツ国立ワイマール・フランツ・リスト音楽大学「国家演奏家資格ソリストコース」に在籍。同年、ドイツで行われた国際ヴァイオリンコンクールにおいて入賞と同時に特別賞を受賞。同年、DAAD（ドイツ学術交流会・学内1位）奨学金を授与される。同年、Joseph Joachim国際室内楽コンクールにてディプロマ取得。満場一致最高得点でドイツ国家演奏家資格を獲得の上、首席で卒業。日本演奏連盟会員。西宮音楽協会会員。日本弦楽指導者協会会員。



JAPAN INTERNATIONAL
MUSIC COMPETITION

日本国際音楽コンペティション 審査員

弦楽器部門 Strings



福本 泰之 Yasuyuki Fukumoto (ヴァイオリン)

愛知県立芸術大学大学院修了後直ちに同大学音楽学部の専任助手となり、母校にて後進の指導にあたる。1994年、渡欧しウィーン国立音楽大学のM.フリッシュェンシュラーガー教授のもとで研鑽を積む。2001年まで室内楽グループ「アンサンブル・ソノリタス」の中心メンバーとして活動。現在、「ザ・ストリングス名古屋」の首席奏者で「名古屋二期会オペラ管弦楽団」、「長久手フォレスト合奏団」などのコンサートマスターもつとめている。また、愛知県立芸術大学弦楽器コース専任教員全員で構成される「愛・知・芸術のもり弦楽五重奏団」のメンバーでもある。2016年、愛知県芸術文化選奨文化賞受賞。現在、愛知県立芸術大学教授及び副学長。



福井 麻衣 Mai Fukui (ハープ)

幼少期をスウェーデンで過ごし、ハープに巡り合う。パリ国立高等音楽院修士課程を審査員満場一致の最優秀賞と審査員特別賞を受賞し首席で卒業。パリ国際ハープ・コンクールにて日本人初の優勝。イスラエル国際ハープ・コンクールにて3位及び現代曲の特別賞受賞。2008-2009年ローム・ミュージック・ファンデーション奨学生。2023年4月CD「ハープの香り」をリリース。パリ・オペラ座、セイジ・オザワ松本フェスティバル、草津音楽祭、ムジックフェストならに招かれ演奏。2025年4月ニューヨーク・カーネギーホールに登場し、好評を博した。フランス・アミアン地方音楽院、東京芸術大学での講師を務め、現在神戸女学院大学にて後進の指導にあたる。東京を拠点に国内外にて演奏活動を行う。http://maifukui.com



菊本 恭子 Yasuko Kikumoto (ヴァイオリン)

ヴァイオリンを高瀬乙慈、東儀祐二、亀田美佐子、田中千香士、稲庭達、辻井淳、V・パラシュケヴォフの各氏に師事。神戸女学院大学音楽学部器楽科卒業。ハンナ・ギュリック・スエヒロ記念賞受賞。同大学音楽専攻科修了。毎日学生音楽コンクール入選。大阪府芸術劇場奨励新人賞受賞。2000年、2004年、いずみホールにてリサイタル開催。これまでソリストとして、ブルガリアトルブーヒン室内オーケストラ、エカテリーナ宮廷室内オーケストラ、モーツァルト室内管弦楽団、京都バッハゾリスデン等、数々の国内外のオーケストラと共演。神戸音楽家協会、枚方演奏家協会各会員。現在、日本弦楽指導者協会関西支部常任理事。神戸女学院大学音楽学部音楽学科准教授。

JAPAN INTERNATIONAL
MUSIC COMPETITION

日本国際音楽コンペティション 審査員

弦楽器部門 Strings



ソモラ・ティボール Szomora Tibor (ヴァイオリン)

ハンガリー・ブダペストのジプシー音楽一家に生まれる。ハンガリー国立リスト音楽院卒業。さらに世界各地のマスタークラスでシュロモ・ミンツやザハール・ブロンなどの名手から薫陶を受ける。2002年のハンガリーフバイフェスティヴァルにおけるデビューを端緒にソリストとしての活動を開始。ブダペストを中心にヨーロッパおよびアメリカでオーケストラとの共演、室内楽のコンサートや音楽祭への出演を重ねる。ハンガリー国営バルトークラジオ局で放送された室内楽プログラムでは大好評を博し、聴衆や批評家から高い評価を得た。モスクワバレエ団ではコンサートマスターを務め2016年のイギリスツアーを成功させた。ヴァイオリニストのジョルジュ・バウク、アレクサンダー・マルコフ各氏より「彼のテクニックは素晴らしく完璧である」、ジプシーヴァイオリニストのロビー・ラカトシュ、ピアニストのアンドラーシュ・シフより「才能あふれるヴァイオリニスト」と評される。現在、金沢を拠点に日本での活動の場を拡げている。2025年にピアニストの藤井亜紀とともに『Rhapsody』をリリース。



JAPAN INTERNATIONAL
MUSIC COMPETITION

日本国際音楽コンペティション 審査員

打楽器部門 Percussion



イサオ・ナカムラ Nakamura Isao(打楽器)

大阪生まれ。世界中の作曲家から献呈されソロ曲や打楽器協奏曲の世界初演。メシアン、ノーノ、シュトックハウゼン、ケージ、カーゲル、エトヴェシュ、細川等、ベルリン、ザルツブルグ、パリ、ウィーン、ミラノ、ブダペスト等の音楽祭で共演。ソリストとしてケルン、バイエルン、ザールランド各放送響、ブランデンブルグフィル、ボッフム響、RAI イタリア放送響、ボルドーオペラ管、インスブルック・チロル響、コンチェルトブダペスト響、都響、大フィル、東フィル等と共演。クラーニツヒシュタイナー音楽賞、青山音楽賞特別賞、佐治敬三賞、京都府文化賞功労賞受賞。

ドイツ国立カールスルーエ音楽大学終身教授。京都市立芸術大学客員教授。YAMAHAアーティスト。



石原 慎之助 Shinnosuke Ishihara (打楽器)

桐朋学園大学音楽学部打楽器科を首席で卒業後、ベルギー政府給費留学により欧州で学び、「テヌート2000音楽コンクール（ベルギー）」で最高位、「トロンプ2000国際音楽コンクール（オランダ）」で第3位を獲得。「第3回世界マリimbaコンクール（ドイツ）」で第2位を受賞し、欧米15か国で演奏。SONY MUSICよりメジャーデビューを果たし、これまでに計15枚のアルバムを発表。近年は舞台音楽の作曲も手がけるほか、「徹子の部屋コンサート」、テレビ朝日系列「題名のない音楽会」「関ジャム 完全燃SHOW」、Eテレ「ムジカピッコリーノ」などに出演するなど、日本を代表するマリimba奏者として幅広く活動している。

実行委員会 委員長

間瀬 尚美 Naomi Mase (打楽器)



同志社女子大学学芸学部音楽学科打楽器専攻卒業。同大学《頌啓会》特別専修課程修了。兵庫県立芸術文化センター大ホールにて「間瀬尚美ワンコインコンサート」等多数のコンサートに出演のほか、2015年には東京藝術劇場にて川瀬賢太郎指揮、日本フィルハーモニー交響楽団とマリimba協奏曲をソリストとして共演。またアメリカカロサンゼルスにて「2008Zeltsman Marimba Festival」参加し、ファイナルコンサート出演。2019年メキシコにて「チャパス国際マリimbaフェスティバル2019」に日本代表で招聘され、マスタークラスやコンサート等を行う。神戸新聞松方ホール音楽賞選考委員奨励賞、神戸新人音楽賞コンクール優秀賞、ひょうごアーティストサロン賞、平成24年度兵庫県坂井時忠音楽賞、平成26年度神戸市文化奨励賞、平成28年度兵庫県芸術奨励賞各受賞。現在、大阪音楽大学、神戸女学院大学音楽学部、県立西宮高等学校音楽科各講師。



JAPAN INTERNATIONAL
MUSIC COMPETITION

日本国際音楽コンペティション 審査員

打楽器部門 Percussion



塚越 慎子 Noriko Tsukagoshi (打楽器)

パリ国際マリンバコンクール第1位はじめ、ベルギー国際マリンバコンクール、世界マリンバコンクール等、国内外のコンクールにて受賞多数。皇居内桃華楽堂にて御前演奏、世界最大の打楽器フェスティバルPASICにてソリストとして出演他、アメリカ、ヨーロッパ、南米より招待を受け国際的に活動中。ソロ活動の他、読売日本交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、広島交響楽団、群馬交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団ほかと共演し、高い評価を得ている。CDはこれまでに3枚リリース、デビューアルバムはレコード芸術誌にて特選盤に選出。国立音楽大学、洗足学園音楽大学非常勤講師。第22回出光音楽賞受賞。長い伝統と権威ある同賞において、初の打楽器奏者の受賞となる。



森本 瑞生 Mizuki Morimoto (打楽器)

京都市立芸術大学卒業。シンガポール国立大学・ヨンシュウトー音楽院、ジョンズ・ホプキンス大学・ピーポディ音楽院（交換留学）を経てニューヨーク・ジュリアード音楽院大学院修了。Bright Sheng作曲のマリンバ協奏曲『Deep Red』のソリストを務め、地元紙straight timesにて『色彩豊かで繊細な演奏』と評された。シンガポールでは全額給付奨学金、NYではEdward Jabes奨学金、Ruth Katzman奨学金、Ute Krayenbueh奨学金を受ける。ニューヨーク州立ストーニーブルック大学でティーチングアシスタントを務め、現在京都市立芸術大学専任講師。イノヴェーティブ・パーカッションのアーティスト。令和4年度京都市芸術新人賞受賞。



葛西 友子 Tomoko Kasai (打楽器)

大阪音楽大学卒業、同大学院管弦打研究室修了。クラシックから現代音楽、吹奏楽、劇伴レコーディングまで幅広くこなすマルチな演奏家として関西を拠点に国内外で精力的に活動している。特に現代音楽の分野において高い評価を得ており、「武生国際音楽祭」や「サントリーサマーフェスタ」をはじめとする主要な音楽祭に多数出演。数多くの新作の世界初演・日本初演に携わり、打楽器の新たな可能性を切り拓いてきた。現在、大阪音楽大学・同短期大学部にて特任准教授を務める。各種音楽コンクールの審査員を歴任する傍ら、全国の吹奏楽部や打楽器セクションの指導、関西打楽器協会理事としての活動を通じ、後進の育成と打楽器音楽の普及・発展に大きく貢献している。



JAPAN INTERNATIONAL
MUSIC COMPETITION

日本国際音楽コンペティション 審査員

声楽部門 Vocal Music



並河 寿美 Hisami Namikawa (ソプラノ)

大阪音楽大学大学院オペラ研究室修了。新国立劇場「おさんー心中天網島より」、兵庫県立芸術文化センター「蝶々夫人」「トスカ」「フィガロの結婚」「メリー・ウィドウ」、びわ湖ホール/神奈川県民ホール「トゥーランドット」「アイダ」「タンホイザー」、日生劇場「フィデリオ」、東京二期会「イル・トロヴァトーレ」等多数に出演。ベートーヴェン第九（ズービン・メータ/NHK交響楽団）、マラー『復活』（大野和士/東京フィル）、ヴェルディ『レクイエム』（パオロ・カリニャーニ/読売日本交響楽団）をはじめ、数々のソリストを務める。平成30年度文化庁芸術祭賞大賞、令和元年度兵庫県文化賞、他受賞。大阪音楽大学特任准教授。東京二期会会員。ボローニャ歌劇場日本公演『トスカ』において急遽代役として出演し注目を集めた。



日紫喜 恵美 Emi Hishiki (ソプラノ)

京都市立芸術大学大学院修了。在学中、文化庁芸術家国内研修員。オーストリア政府給費留学生としてモーツァルテウム、ロータリー奨学生としてミュンヘン国立音大に留学。日本モーツァルト音楽コンクール第1位。日本音楽コンクール第2位。バルセロナ国際コンクールソプラノ・リリコレジェーロ賞。トゥルーズ国際コンクール聴衆賞。ベルギー国際声楽コンクール第2位など受賞多数。日生劇場『魔笛』夜の女王として在学中にデビュー。以降多数のオペラに主演。小澤征爾指揮、ローラン・ペリ演出の『ジャンニ・スキッキ』や佐渡裕指揮『キャンディード』宮本亜門演出による同ミュージカル主演。ブルガリア・ソフィア音楽祭、韓国・FIFA公式演奏会をはじめ、ドイツ、オーストリア、スイスなどでの『リゴレット』、ミラノ、ヴェルディホールにおけるヴェルディガラコンサートなど海外でも活躍。関西二期会会員。京都市立芸術大学准教授。



晴 雅彦 Masahiko Hare (バリトン)

大阪音楽大学卒業。文化庁派遣芸術家在外研修員として独ベルリンに留学。独ケムニッツ市立劇場「魔笛」パパゲーノで欧州デビュー後、独ザクセン州立劇場、独ラインスベルク音楽祭、瑞ヴァドステナ音楽祭、新国立劇場で活躍。チョン・ミョンフン、ペーター・シュナイダー、ダン・エッティンガー、ウルフ・シルマー等著名な指揮者や露レニングラード国立歌劇場管弦楽団と共演。「プレミアム・シアター」「名曲リサイタル」「題名のない音楽会」に出演。大阪府芸術劇場奨励新人、咲くやこの花賞、大阪文化祭賞奨励賞、兵庫県芸術奨励賞を受賞。富田林市文化振興事業団すばるホール・アドバイザー。ふるさと富田林応援団アンバサダー。大阪音楽大学教授。



JAPAN INTERNATIONAL
MUSIC COMPETITION

日本国際音楽コンペティション 審査員

声楽部門 Vocal Music



西側 真理子 Mariko Nishigawa (ソプラノ)

大阪音楽大学を卒業後、イタリア国立ミラノ・ヴェルディ音楽院声楽科にて学ぶ。8年間にわたりイタリア各地でオペラ「トスカ」「ラ・ボエーム」等への出演をはじめ、音楽祭、コンサートの分野でもソリストとしての豊富な実践経験を得た。帰国後は「夕鶴」「蝶々夫人」「椿姫」のタイトルロール出演をはじめ、各地でのオペラ、リサイタルに出演、国内外のオーケストラ公演ソリストとしても招聘され海外公演も多数参加している。

現在 宝塚音楽学校、大阪音楽大学付属音楽院講師。
東京二期会会員。



松原 友 Tomo Matsubara (テノール)

東京藝術大学卒業。同大学院修了。ロームミュージックファンデーション、野村財団奨学生としてミュンヘン音楽大学大学院、ウィーン国立音楽大学リート・オラトリオ科卒業。第14回松方ホール音楽賞、第81回、83回日本音楽コンクール第3位・岩谷賞（聴衆賞）、第71回文化庁芸術祭新人賞受賞。東京藝術大学、京都市立芸術大学、武蔵野音楽大学、同志社女子大学、相愛大学、大阪音楽大学、大阪教育大学、夕陽丘高校、相愛高校、各非常勤講師。東京二期会、日本演奏連盟、日本シューベルト協会会員。



太田 裕子 Hiroko Ohta (ソプラノ)

大阪音楽大学大学院オペラ研究室修了。なにわ芸術祭新人奨励賞などを受賞。文化庁インターンシップ国内研修員に選出。『フィガロの結婚』『修道女アンジェリカ』『コジ・ファン・トゥッテ』『魔笛』『ファルスタッフ』『エフゲニーオネーギン』『パリアッチ』などにプリンシパルとして出演。

現在、関西歌劇団正団員、関西歌曲研究会会員、神戸音楽家協会会員。兵庫県立西宮高等学校音楽科非常勤講師。

JAPAN INTERNATIONAL
MUSIC COMPETITION

日本国際音楽コンペティション 審査員

声楽部門 Vocal Music



折江 忠道 Tadamichi Orié (バリトン)

日本のオペラ界を牽引するバリトン歌手。東京藝術大学卒業、同大学院修了。1979年に渡伊しミラノ・ヴェルディ音楽院で学ぶ。1982年アレクサンドリア国際コンクールで優勝し、モーツァルト『ドン・ジョヴァンニ』のタイトル・ロールで欧州オペラデビュー。ヴィオッティ国際音楽コンクール第2位、翌年のアレクサンドリア国際コンクールで再び優勝を飾る。以降、欧州各地の歌劇場で『ラ・ボエーム』『蝶々夫人』『リゴレット』などの主要な役を務め、イタリア国营放送（RAI）のオーケストラとも共演するなど国際的に活躍。日本では1988年、藤原歌劇団『椿姫』のジェルモン役で本格デビュー。以来、同劇団のプリモ・バリトンとして『マクベス』『ファルスタッフ』のタイトル・ロールをはじめ、『トスカ』スカルピア、『愛の妙薬』ベルコーレなど、イタリアオペラを中心に数多くの大役を熱演してきた。NHKニューイヤーオペラコンサートへの出演、リサイタルの開催など、現在も現役歌手として精力的にステージに立ち続けている。2016年4月より藤原歌劇団総監督に就任。公益財団法人日本オペラ振興会常務理事。音楽教育者としても後進の育成に尽力しており、京都市立芸術大学名誉教授、昭和音楽大学教授を務めている。



JAPAN INTERNATIONAL
MUSIC COMPETITION

日本国際音楽コンペティション 審査員

ピアノ部門 Piano



岡田 将 Masaru Okada (ピアノ)

桐朋女子高等学校音楽科在学中に日本音楽コンクール優勝。モーツァルテウム音楽院、ベルリン国立芸術大学に留学。99年オランダのリスト国際ピアノコンクールに日本人として初めて優勝。国内外のオーケストラと共演。また、オール・リスト・シリーズ、バッハ：パルティータ全6曲コンサート、ベートーヴェン：ピアノソナタ全曲シリーズ、2018年にはリスト：超絶技巧練習曲全曲コンサートを開催し話題となる。また、同年12月にはスペインの巨匠チェリスト ルイス・クラレットとの共演でCD『ベートーヴェン：チェロ・ソナタ全集』（オクタヴィア／レコード芸術準特選盤）をリリース。高い評価を得ている。

神戸女学院大学教授、エリザベト音楽大学客員教授。



石井 なをみ Naomi Ishii (ピアノ)

神戸女学院大学音楽学部卒業。同研究生修了。国際ロータリー財団奨学生としてザルツブルグ・モーツァルテウム音楽大学大学院演奏家コースに留学。各種コンクール審査員。ショパン国際コンクール・イン・ハートフォード「優秀指導者賞」、パデレフスキー国際コンクール「優秀指導者賞」を受賞。ロザリオ・マルチーノ国際コンクール審査員。アメリカ・ハートフォード・ショパン国際コンクール審査員。ポーランド・ブスコフズィドロイにてクリスティアン・トカチェフスキー国際コンクール審査員。パデレフスキー国際コンクール審査員。一般社団法人全日本ピアノ指導者協会評議員。日本バッハコンクール実行委員長。ピティナ指導者育成委員、大阪音楽大学特任教授、神戸女学院大学・大学院、昭和音楽大学・大学院、兵庫県立西宮高等学校音楽科、各非常勤講師。



鳥居 知行 Tomoyuki Torii (ピアノ)

大阪音楽大学附属音楽高等学校を経て、大阪音楽大学音楽学部卒業。1986年同大学大学院修了。その後、渡独し、ミュンヘン国立音楽大学大学院（マイスタークラス）修了。92年帰国後は数多くのリサイタル開催の他、オーケストラとの協演も多く、大阪交響楽団をはじめ、ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団、モーツァルト室内管弦楽団、テレマン室内オーケストラ等と協演。また、2010年チェコから来日したマルティヌ弦楽四重奏団との室内楽でも好評を博す。86年第5回新人音楽コンクール第2位。90年ヴィオッティ・ヴァルセリア国際音楽コンクールロマン派部門第4位入賞。97年度大阪文化祭本賞受賞。現在、大阪音楽大学副学長、教授、ピアノ専攻主任。



JAPAN INTERNATIONAL
MUSIC COMPETITION

日本国際音楽コンペティション 審査員

ピアノ部門 Piano



リヒャルト・フランク Richard Frank (ピアノ)

スイス、チューリッヒで生まれる。チューリッヒ市立音楽大学卒業、ドイツ国立フライブルグ音楽大学大学院卒業。その後ジュリアード音楽院に学ぶ。1979年から関西に在住。ヨーロッパ各地、アメリカ合衆国、中国、東南アジア、日本でリサイタル、コンチェルト、ピアノデュオ、歌の伴奏、室内楽などあらゆる分野の演奏活動をしている。佐曲家フランツ・リストをライフワークとし1987年リスト協会スイス・日本を設立。多くのCD録音リリース。これまでの音楽活動が評価され2000年版からケンブリッジ（英国）の音楽家辞典『INTERNATIONAL WHO'S WHO IN MUSIC AND MUSICIANS' DIRECTORY』に登録されている。同志社女子大学音楽学科講師、リスト協会スイス日本会長。



城 沙織 Saori Jo (ピアノ)

兵庫県立西宮高等学校音楽科を経て、神戸女学院大学音楽学部音楽学科器楽専攻、及び同大学大学院音楽研究科修士課程を共に首席で修了。ハンナ・ギュリック・スエヒロ記念賞受賞。大学推薦で訪米、ミネアポリス、シカゴ及び在シカゴ日本国総領事館で公演。日本・オマーン外交関係40周年記念事業として在オマーン日本国大使館主催の演奏会に出演。テレマン室内オーケストラと共演。平成26年度ひょうごアーティストサロン賞受賞。ヨーロッパ国際ピアノコンクール特別優秀指導者賞受賞。京田辺市音楽コンクール審査員。神戸女学院大学音楽学部、兵庫県立西宮高等学校音楽科講師。



伊藤 順一 Junichi Ito (ピアノ)

東京藝術大学在学中に渡仏し、フランス三大音楽院であるパリ・エコールノルマル、パリ国立、リヨン国立で研鑽を積み、ヨーロッパ各地の国際コンクールに入賞。クロアチア放送交響楽団などと共演。第4回 日本ショパンコンクール第1位。第47回 日本ショパン協会賞受賞。第18回 ショパン国際コンクール本大会出場。デビューアルバム「プロフォンド」はレコード芸術誌「特選盤」に選出され、フランス作品のみを収録したセカンドアルバム「レスポワール」と共に好評を得ている。現在、神戸女学院大学講師。ホームページ <https://itojunichi-pianist.com>

JAPAN INTERNATIONAL
MUSIC COMPETITION

日本国際音楽コンペティション 審査員

ピアノ部門 Piano



岸本 雅美 Masami Kishimoto (ピアノ)

1994年に大阪音楽大学を首席で卒業し同大学院修了。宝塚ベガ音楽コンクール1位をはじめ、数々のオーディションやコンクールで実績を残す。1997年の日本音楽コンクールでは、著作権問題による審査辞退という異例の事態から「幻の1位」として話題を呼び、これが新日本フィルハーモニー管弦楽団との東京デビューへ繋がった。特に指揮者ゲルハルト・ボッセ氏から厚い信頼を受け、国内外の多数のオーケストラと共演を重ねる。モーツァルト作品の演奏では極めて高い評価を得ており、日本モーツァルト協会の例会やリサイタルに度々招待されている。また、ベルリン・フィル首席クラリネット奏者のヴェンツェル・フックス氏やチェロ奏者の上森祥平氏らとの共演など、室内楽やソロ活動を全国で活発に展開。カルロス・セイシャスや女性作曲家の作品など、知られざる楽曲の紹介にも取り組む。演奏活動の一方で、多くのコンクール審査員や公開レッスンの講師を務め、後進の育成や音楽普及にも尽力。神戸灘ライオンズクラブ音楽賞を。現在は大阪音楽大学非常勤講師、兵庫県立西宮高等学校音楽科特別非常勤講師を務めている。



JAPAN INTERNATIONAL
MUSIC COMPETITION

日本国際音楽コンペティション 審査員

ミュージカル部門 Musical



tekkan

大阪音楽大学声楽科卒。ミュージカル俳優、演出、ボイストレーナー。主な出演作に「レ・ミゼラブル」「ミス・サイゴン」(トゥイ役)「MOZART!」「キャンディード」「レベッカ」(ベン役)「マリアントワネット」(ラフェルテ役)「マルグリット」(ルシアン役)「tick,tick...BOOM!」(マイク役)他。演出作品には「Catch Me If You Can!」「Into The Woods」「Little Women」他。歌唱指導では韓国ミュージカル「HOPE」東宝主催海宝直人コンサート『ATTENTION PLEASE!2』東宝ミュージカル『Girl Friend』等。現在、洗足学園音楽大学ミュージカルコース統括教授。



久保田 彩佳 Ayaka Kubota

東京藝術大学声楽科卒業。卒業時アカンサス音楽賞、同声会賞を受賞。声楽を高丈二、佐々木典子の各氏に師事。在学中にミュージカルサークル「藝大ミュージカルエクスプレス」を発足。学内外にて公演を行う。劇団四季「ウェストサイド物語」サムウェアシンガー役でデビューし「キャッツ」シラバブ役、「オペラ座の怪人」「美女と野獣」等に出演。退団後、ミュージカル「THE BOY FROM OZ」、朗読劇「石の庭」などの舞台出演の他、コンサートプロデュース、ミュージカル歌唱指導、演出助手も行っている。武庫川女子大学音楽学部ミュージカルコース非常勤講師。学校法人誠華学園オペレッタ指導講師。なにわミュージカル主宰。



杉本 朝陽 Asahi Sugimoto

兵庫県立宝塚北高等学校演劇科卒業。その後NYブロードウェイダンスセンターへの留学プログラム、ISVPのカリキュラムを修了。2007年『WICKED』USJ特別版で主演グリンド役を演じる。その後も舞台を中心に活躍し、有名テーマパークのショーやイベント・CM等にも多数出演。他の代表作として『ミス・サイゴン』『Endless SHOCK』、『ドラゴンクエスト・ライブスペクタクルツアー』など。現在、大阪音楽大学短期ミュージカルコース、大阪芸術大学ミュージカルコースにて講師として後進の指導に力を注ぎながら自らも舞台やイベント等に出演し精力的に活動している。



JAPAN INTERNATIONAL
MUSIC COMPETITION

日本国際音楽コンペティション 審査員

ミュージカル部門 Musical



楠木 稔 Minoru Kusunoki

ミュージカル俳優として、劇団四季の『ノートルダムの鐘』の他、『アニーよ銃をとれ』ポウニー・ビル役、『ズボン船長』ソックラテス役等、全国各地の公演に出演。ミュージカル3部作『サクラ・サク』では、一人芝居ミュージカル『夜明け』・二人芝居ミュージカル『10カウント』・三人芝居ミュージカル『サクラ・サク』の3作に主演で出演。その他、テレビ・ラジオ・インターネット等のCMソングを数多く歌う。ボイストレーナーとしても活動し、武庫之荘クスノキ音楽教室の主宰として後進の育成に努める。大阪音楽大学専攻科声楽専攻修了。所属事務所：KとS株式会社所属。



風間 友香子 Yukako Kazama

大阪音楽大学声楽専攻卒業。ウイーンマイスターコース修了、ディプロマを取得、修了演奏会に出演。第3回リトルカメリアコンクール入選。ソロリサイタル2回開催。数々のオーケストラと共演。オペラ、オペレッタは「こうもり」アデーレ、「カルメン」ミカエラ、「メリーウィドウ」バランシェンス、「ジプシー男爵」アルゼナ、「コジファントウツテ」デスピーナ、「源氏物語」葵の上、「赤い陣羽織」おかか役他、多数出演。コンサートも多数出演。宝塚音楽学校、百合学院中、高等学校声楽講師。関西歌劇団所属。川西音楽家協会役員。



中尾 理恵 Rie Nakao

大阪音楽大学声楽学科、声楽専攻科卒業。アメリカ ペンシルヴァニア州テンプル大学院Voice Performance 研究室卒業Master of Musicの称号をテンプル大学より得る。

劇団四季 関西歌劇団Boyer College of Music and Dance等の公演に多数出演。現在、テアトルアカデミー大阪校、アクトレスK等の講師。

JAPAN INTERNATIONAL
MUSIC COMPETITION

日本国際音楽コンペティション 審査員

ミュージカル部門 Musical



松田 ひろ子 Hiroko Matsuda

大阪音楽大学短期大学部ミュージカル・コース教授。DAION座代表。神戸女学院大学音楽学部客員教授。東京芸術大学音楽学部声楽科卒業。劇団四季を経てシンガーとして活動。クラシック・ミュージカルの垣根を越えた幅広いジャンルの歌唱指導には定評がある。2008年より大阪音楽大学短期大学部ミュージカル・コースにて指導。羽鳥三実広氏の元で「ミュージカル俳優に必要な歌唱・演技の基礎発声」「表現法」の指導法を学ぶ。アニーやサウンド・オブ・ミュージックなどの子役から東宝・劇団四季のオーディション合格者を多数輩出。そのほか各地でのミュージカルワークショップ企画・指導、ミュージカルショーやコンサートイベントの構成・編曲も意欲的に手がける。DAION オリジナルミュージカル作曲、音楽監督、演出。